

予防 01 : 疾病予防と公衆衛生

日時 : 4 月 9 日 (水) 2 時限

担当者 : 太田 晶子(社会医学)

内容 :

1. 公衆衛生の概念と機能について説明できる。
2. プライマリケアと地域共生社会の概念を説明できる。
3. 予防の段階とそれらの戦略を説明できる。
4. 社会構造と健康・疾病との関係を説明できる。
5. 日本と国際的な公衆衛生・保健医療上の課題を説明できる。
6. 公衆衛生の向上における医師の役割について説明できる。
7. 公衆衛生と倫理について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版 : B-1、B-4

医師国家試験出題基準平成 30 年版 : 医学総論 I 保健医療論、II 予防と健康管理・増進、必修 2、必修 10、必修 17

キーワード :

ユニット :

衛生、C.E.A.Winslow

★コアカリ :

公衆衛生、生存権、憲法第 25 条、健康の定義、ウェルビーイング、生活者の視点、地域共生社会、健康の社会的決定要因 (social determinant of health)、アドボカシー、健康格差、プライマリケア、倫理、ジェンダー

国試出題基準 :

健康の定義、地域社会と公衆衛生、コミュニティヘルス、予防医学、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)、保健関連 SDGs (Sustainable Development Goals)、世界保健機関 (WHO)、医師法

教科書 :

公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 公衆衛生と健康の概念 p2-9、医療と社会 医の倫理と患者の人権 p66-73

予習 :

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 公衆衛生と健康の概念 p2-9 (10 分)

復習 :

2. 国民衛生の動向 第 1 編 わが国の社会保障の動向と衛生行政の体系 第 1 章 わが国の衛生を取り巻く社会状況と保健医療 p11-21

1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 02 : 公衆衛生学特論

日時 : 4 月 11 日 (金) 4 時限

担当者 : 三浦 公嗣(社会医学)

内容 :

1. Public health の意義について説明できる。
2. 我が国の公衆衛生の成果と今後の展望について説明できる。
3. 健康を取り巻く社会環境変化をとらえる視点や考え方を説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版 : B-1-6)

キーワード :

ユニット :

Public health、健康と社会環境、健康水準、医学・医療技術と健康

復習：

講義内容を確認する。(20 分)

予防 03：医師法と関連法規

日時：4 月 18 日（金） 4 時限

担当者：亀井 美登里(社会医学)

内容：

1. 医師法に定める医師の職権と義務を説明できる。
2. 医師の届出等が必要な内容・義務とその法規について説明できる。
3. 医療職を規定する法律、制度を説明できる。
4. 医療職の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。
5. 主な保健、医療、福祉、介護関係法規の概要について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-8)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論 I -4-A～B、I -5-A～N、必修 2-A

キーワード：

★コアカリ：

医師法、医療法、医療関連法規、資格免許、職種間連携

国試出題基準：

医師法、医療法、刑法、民法、保健・医療・福祉・介護関係法規、医行為、診療補助行為

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 医療と社会 p66-89、p124-151

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 医療と社会 p66-89、p124-151 (10 分)

復習：

1. を読み、理解を深める。(20 分)

予防 04：人口・保健統計（1）人口静態統計

日時：4 月 25 日（金） 2 時限

担当者：太田 晶子(社会医学)

内容：

主な人口統計（人口静態と人口動態）、疾病・傷害の分類・統計を理解している。

1. 人口静態統計について説明できる。
2. 人口静態に関する指標を列挙し、それぞれの意味と現状を説明できる。
3. 我が国の人口構造の変化を説明できる。
4. 我が国の世帯の変化を説明できる。
5. 人口構造の変化、世帯構成の変化、産業構造の変化がもたらす公衆衛生の課題について説明できる。
6. 世界の人口の動向を説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-4)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論 I -1-C、II -2-A

キーワード：

ユニット：

人口ピラミッド、年少人口、生産年齢人口、老年人口、年少人口指数、従属人口指数、老年人口指数、老年化指数、将来推計、生活様式と家族、労働力人口、世帯数

★コアカリ：

保健統計の意義、人口統計、人口静態、人口動態

国試出題基準：

保健統計、人口統計、人口動態、日本の人口、国勢調査、世界の人口

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 保健統計 p38-43

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 保健統計 p38-43 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第 2 編 衛生の主要指標 第 1 章 人口動態 p50-58

1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 05：人口・保健統計（2）人口動態統計

日時：5 月 2 日（金） 3 時限

担当者：太田 晶子(社会医学)

内容：

主な人口統計（人口動態と人口動態）、疾病・傷害の分類・統計を理解している。

1. 人口動態統計の仕組みを理解し説明できる。
2. 疾病の定義、分類と国際疾病分類（ICD）を説明できる。
3. 出生・死亡・死産・婚姻・離婚の動向について説明できる。
4. 母子保健関連指標の意味とその動向について説明できる。
5. 死因別死亡率の動向を説明できる。
6. 人口動態指標から明らかになった我が国の公衆衛生における課題を列挙できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-4)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論Ⅱ-2-B

キーワード：

ユニット：

戸籍法、出生届、死亡届、死産の届出に関する規定、婚姻届、離婚届、出生率、粗再生産率、純再生産率、死亡率、年齢調整死亡率、標準化死亡比（SMR）、死因別死亡率、原死因、周産期死亡率、早期新生児死亡率、新生児死亡率、乳児死亡率、妊産婦死亡率、死産率、乳児死亡の原因、乳幼児突然死症候群、低出生体重児、

★コアカリ：

保健統計、人口統計、人口動態、死亡診断書

国試出題基準：

人口統計、保健統計、人口動態、出生と死亡、結婚と離婚、死産、再生産率、合計特殊出生率、国際疾病分類(ICD)、死亡診断書

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 保健統計 p44-51, p54-61

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 保健統計 p44-51, p54-61 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第 2 編 衛生の主要指標 第 2 章 人口動態 p59-81

1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 06：人口・保健統計（3）生命表と保健・衛生統計

日時：5 月 13 日（火） 4 時限

担当者：太田 晶子(社会医学)

内容：

主な人口統計（人口静態と人口動態）、疾病・傷害の分類・統計を理解している。

1. 平均寿命、健康寿命について説明できる。
2. 生命表の作り方、生命表関数について説明できる。
3. 我が国の平均寿命と平均余命の現状を説明できる。
4. 国民生活基礎調査、患者調査、国民健康・栄養調査、感染症に関する統計、食中毒統計、学校保健統計について調査の目的、方法、そこから得られる指標について説明できる。
5. 我が国の受療動向を説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-4)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論Ⅱ-2-B、Ⅱ-2-C

キーワード：

ユニット：

生命表（完全、簡易）、生命関数（死亡率、生存数、死亡数、定常人口、平均余命、平均寿命）、死因分析、学校保健統計、有訴者率、通院者率、推計患者数、受療率、総患者数、退院患者平均在院日数、罹患率、感染症患者数、罹患率、疾病構造の変化

★コアカリ：

平均寿命、健康寿命

国試出題基準：

生命表、平均余命、平均寿命、国民生活基礎調査、患者調査、国民健康・栄養調査

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 保健統計 p52-53, p62-65

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 保健統計 p52-53, p62-65 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第 2 編 衛生の主要指標 第 3 章 生命表 p82-85 第 4 章 健康状態と受療状況 p86-91
1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 07：公衆衛生学特論：医療政策・公衆衛生政策

日時：5 月 22 日（木） 3 時限

担当者：平子 哲夫(社会医学)

内容：

1. 国民の健康の保持増進についての基本的な考え方を説明できる。
2. 公衆衛生の考え方と医療政策との関係について説明できる。
3. 公衆衛生の向上のための政府の役割を説明できる。
4. 公衆衛生の向上に役立つ医師の在り方について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-8)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論Ⅰ-1-A、Ⅰ-2-A～C、Ⅰ-5-A、必修 2-A

キーワード：

ユニット：

公衆衛生、医師法第 1 条

★コアカリ：

健康の定義

国試出題基準：

健康の定義

予習：

なし

復習：

公衆衛生の定義、医師法第1条について復習しておく。(10分)

予防08：疾病予防と健康管理

日時：5月23日(金) 1時限

担当者：太田 晶子(社会医学)

内容：

1. 健康、疾病、障害の概念について説明できる。
2. 予防の段階とそれらの戦略を説明できる。
3. ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについて説明できる。
4. 健康管理の概念と方法について説明できる。
5. 健康診断・診査と事後指導の意義について説明できる。
6. がん検診、特定健康診査・特定保健指導の考え方と方法について説明できる。
7. ライフステージの健康問題とそれに応じた健康管理について概説できる。

コア・カリキュラム平成28年度改訂版：B-1-4)、B-1-6)

医師国家試験出題基準平成30年版：医学総論Ⅰ-1-A～D、Ⅱ-2-A、必修2-B

キーワード：

ユニット：

健康支援環境、健診と検診

★コアカリ：

健康の定義、障害と疾病の概念、健康寿命、ウェルビーイング、生活者の視点、地域共生社会、生活の質<QOL>、健康の社会的決定要因(social determinant of health)、社会環境、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、機能障害、活動制限、参加制約、一次予防、二次予防、三次予防、健康管理の概念・方法、健康診断・診査、事後指導

国試出題基準：

健康の定義、WHO憲章、障害・疾病の概念と構造、国際生活機能分類(ICF)、機能障害<impairment>、活動制限<activity limitation>、参加制約<participation restriction>、生活の質<QOL>、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、一次予防、二次予防、三次予防、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、オタワ憲章、健康増進、行動変容、健康管理の概念と方法、健康教育、保健指導、健康診断・診査、スクリーニング、事後指導、健康増進法、高齢者医療確保法

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 公衆衛生と健康の概念 p2-8、疫学 p26-31、保健と福祉 成人保健と健康増進 p178-181

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 公衆衛生と健康の概念 p2-8、疫学 p26-31、保健と福祉 成人保健と健康増進 p178-181 (10分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第3編 保健と医療の動向 第1章 生活習慣病と健康増進対策 p92-106
1を読み、さらに2を読み、理解を深める。(20分)

予防09：生活習慣病と健康増進

日時：5月27日(火) 4時限

担当者：太田 晶子(社会医学)

内容：

目的：健康増進施策の意義と概要、生活習慣とリスクについて学ぶ。

1. 国民健康づくり運動（健康日本 21）の理念と方法について説明できる。
2. 生活習慣病のリスクファクターについて説明できる。
3. 栄養、食生活と健康について説明できる。
4. 身体活動、運動と健康について説明できる。
5. 休養・心の健康について説明できる。
6. 喫煙の現状と対策について説明できる。
7. 飲酒の状況と有害性について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-5)、B-1-6)

キーワード：

ユニット：

健康阻害要因、健康日本 21（第 2 次）、生活習慣と認知症、食習慣、塩分摂取、運動習慣、運動の効用、喫煙の健康影響、受動喫煙対策、たばこ規制枠組み条約、禁煙条例、電子タバコ、熱感式たばこ

★コアカリ：

健康増進法、国民健康づくり運動、生活習慣病のリスクファクター、健康寿命の延伸、生活の質（quality of life < QOL >）、行動変容、健康づくり支援のための環境整備、栄養、食育、食生活、身体活動、運動、休養・心の健康（睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防）、喫煙、喫煙状況、喫煙の有害性、受動喫煙防止、禁煙支援、飲酒、ライフステージに応じた健康管理、環境・生活習慣改善、環境レベル、知識レベル、行動レベル、行動変容

国試出題基準：

生活習慣病、非感染性疾患（NCD）、健康増進、ヘルスプロモーション、オタワ憲章、生活習慣病の罹患と死亡、生活習慣病と保健対策、1 次予防、2 次予防、3 次予防、国民健康づくり運動、生活習慣病のリスクファクター、健康寿命の延伸、生活の質（quality of life < QOL >）、行動変容、健康づくり支援のための環境整備、栄養、食生活、身体活動、運動、休養・心の健康、睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防、喫煙、喫煙状況、喫煙の有害性、受動喫煙、禁煙支援、飲酒、メタボリックシンドローム、特定健康診査・特定保健指導、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、健康増進法、高齢者医療確保法

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 成人保健と健康増進 p178-195

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 成人保健と健康増進 p178-195（10 分）

復習：

2. 国民衛生の動向 2 第 3 編 保健と医療の動向 第 1 章 生活習慣病と健康増進対策 p92-106
1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。（20 分）

予防 10：がん対策とがん登録

日時：5 月 29 日（木） 4 時限

担当者：大木 いずみ(社会医学)

内容：

1. わが国のがん統計（罹患・死亡）を把握する。
2. がんの予防（一次予防・二次予防・三次予防）を理解する。
3. 行政によるがん対策の手法を説明できる。
4. 行政によるがん対策の策定及び事後評価に必要な指標を説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-4)、B-1-5)、B-1-6)

キーワード：

ユニット：

がん対策推進基本計画、がん検診、がん登録等の推進に関する法律、全国がん登録 (population-based cancer registry)、院内がん登録 (hospital cancer registry)、罹患数・罹患率 (Incidence)、有病数・有病率 (prevalence)、年齢調整罹患率 (standardized incidence rate)、年齢調整死亡率 (standardized mortality rate)、患者数、生存率 (survival rate)、相対生存率 (relative survival rate)、寄与割合 (attributable risk percent)、感度・特異度・陽性適中率・陰性適中率

国試出題基準：

がん対策基本法

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 疫学 p26-31、成人保健と健康増進 がん対策 p196-198

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 公衆衛生と疫学・統計 疫学 p26-31、成人保健と健康増進 がん対策 p196-198 を読んでおく。(10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第3編 保健と医療の動向 第4章 疾病対策 がん対策 p166-169
1 を読み、さらに2を読み、理解を深める。(20 分)

予防 11：感染症の疫学と予防（1）：感染症対策

日時：5月30日（金） 1時限

担当者：太田 晶子(社会医学)

内容：

1. 感染症発生の三大要因を説明できる。
2. 感染症法による感染症対策の基本理念について説明できる。
3. 感染症法による感染症類型の特徴と類型別の対応について説明できる
4. 感染症対策における医師と自治体の役割、対応について説明できる。
5. 感染症発生動向調査<サーベイランス>について説明できる。
6. 検疫について説明し、検疫感染症を挙げることができる。
7. 予防接種法による予防接種の考え方と定期予防接種について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-8)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論Ⅱ-8-A～C

キーワード：

ユニット：

感染源、感染経路、感受性、集団免疫、一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症、新型インフルエンザ等感染症、新感染症、指定感染症、医師の届出義務、感染症指定医療機関、指定届出機関、積極的疫学調査

★コアカリ：

感染症法、届出義務、健康危機管理、保健所、地方衛生研究所

国試出題基準：

感染症法、検疫法、予防接種法、主な感染症の疫学、流行状況、感染症発生動向調査<サーベイランス>、母子感染、健康診断、入院、届出、就業制限、予防接種、集団予防、個人予防、生ワクチン、不活化ワクチン、検疫、人畜共通感染症対策、

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 感染症対策 p276-293

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 感染症対策 p276-293 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第3編 保健と医療の動向 第3章 感染症対策 p135-148, p155-165
1を読み、さらに2を読み、理解を深める。(20分)

予防12：感染症の疫学と予防（2）：注目すべき感染症

日時：5月30日（金） 2時限

担当者：太田 晶子(社会医学)

内容：

1. 公衆衛生上、注目すべき感染症を挙げ、その発生動向について説明できる。
2. 急性感染症に特異的な疫学的アプローチを理解している。
3. 我が国の結核患者数の推移と結核対策について説明できる。
4. WHOの結核制圧戦略の概要を説明できる。
5. 我が国のHIV感染者数、エイズ患者数の推移と対策について説明できる。

コア・カリキュラム平成28年度改訂版：B-1-8)

医師国家試験出題基準平成30年版：医学総論Ⅱ-8-A～C

キーワード：

ユニット：

新興感染症、再興感染症、結核登録、患者管理、結核医療、DOTS戦略、HIV感染者、エイズ患者、ウイルス性肝炎、肝炎対策

★コアカリ：

感染症法、届出義務、健康危機管理、保健所、地方衛生研究所、肝炎対策基本法

国試出題基準：

感染症発生動向調査＜サーベイランス＞、健康診断、予防接種、公費医療、感染症法、検疫法、予防接種法

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 感染症対策 p294-309

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 感染症対策 p294-309 (10分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第3編 保健と医療の動向 第3章 感染症対策 p148-155
1を読み、さらに2を読み、理解を深める。(20分)

予防13：地域保健：保健所の業務と役割

日時：6月4日（水） 3時限

担当者：川南 勝彦(埼玉県南部保健所)

内容：

目的：事例を通して保健所の業務と役割を理解する。

1. 地域保健法による保健所の役割を理解し説明できる。
2. 保健所における対人保健業務を理解し説明できる。
3. 保健所における対物保健業務を理解し説明できる。
4. 市町村、県庁及び県衛生研究所との関係・役割を理解し説明できる。
5. 院内感染対策や感染症の事例に対して、医師として適切な公衆衛生学的対応ができる。
6. 行政で働く公衆衛生医師としての役割・責任を理解し受容できる。

コア・カリキュラム平成28年度改訂版：B-1-7)、B-1-8)

医師国家試験出題基準平成30年版：医学総論Ⅰ-3-A～C、Ⅰ-4-A～B、Ⅰ-6-A～G

キーワード：

ユニット：

保健所、地域保健法、対人保健業務、対物保健業務、市町村等の行政機関、院内感染対策、感染症、公衆衛生医師

★コアカリ：

地域保健、健康危機管理、保健所、市町村保健センター、地方衛生研究所、保健・医療・福祉・介護の連携

国試出題基準：

地域保健、保健所、市町村保健センター、地方衛生研究所、地域保健法

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 医療と社会 地域保健 p172-177

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 医療と社会 地域保健 p172-177 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第1編 わが国の社会保障の動向と衛生行政の体系 第2章 衛生行政活動の概況 P22-39

1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 14：介護保険制度と高齢者のケアマネジメント

日時：6月5日（木） 4時限

担当者：亀井 美登里(社会医学)

内容：

目標：高齢者介護の現状と課題について学ぶ。

1. 介護保険制度の理念と介護予防について説明できる。
2. 要介護認定、ケアマネジメントの過程について説明できる。
3. 介護（予防）サービス、介護保険施設について説明できる。
4. 地域包括ケアの考え方とその導入の背景について説明できる。
5. 地域包括ケアシステムについて説明できる。
6. 地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保険福祉制度を説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-6)、B-1-7)、B-1-8)、F-2-15)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論 I -2-A～B、I -3-A～C、I -4-A～B、II -6-A～B、必修 2-A

キーワード：

ユニット：

保険者、被保険者、要介護者、要支援者、介護（予防）給付、保険料、ケアマネジメント、地域支援事業、介護医療院

★コアカリ：

保健・医療・介護・福祉の連携、地域包括ケアシステム、介護保険制度、障害者総合支援法

国試出題基準：

介護保険、介護保険法、要介護、要支援、要介護認定、居宅サービス、ショートステイ、グループホーム、介護保険施設（介護老人福祉施設＜特別養護老人ホーム＞、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）、主治医意見書、ケアプラン、介護支援専門員＜ケアマネジャー＞、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、地域包括ケアシステム

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 高齢者保健 p230-253、障害者福祉 p254-261

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 高齢者保健 p230-253、障害者福祉 p254-261 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第 5 編 介護保険 p242-256、
1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 15：高齢者保健・医療・介護

日時：6月5日（木） 5時限

担当者：亀井 美登里(社会医学)

内容：

1. 高齢者の健康、疾病、障害の特徴を説明できる。
2. フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームの概念と予防について説明できる。
3. 国際生活機能分類について理解している。
4. 高齢者の介護予防について説明できる。
5. 在宅ケアのあり方、今後の必要性和課題について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-6)、B-1-8)、B-4-1)、E-8-1)、E-9-1)、F-2-15)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論 I -3-A～C、I -4-A～B、II -6-A～B

キーワード：

ユニット：

老年症候群、国際生活機能分類、認知症、日常生活動作、介護と環境整備、医療・介護の連携、終末期、エンド・オブ・ライフ・ケア、アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning : ACP)、老人保健法

★コアカリ：

日常生活動作＜ADL＞、健康寿命、生活の質＜QOL＞、在宅医療

国試出題基準：

日常生活動作＜ADL＞、健康寿命、生活の質 (quality of life < QOL >)、国際生活機能分類 (ICF)、フレイル、サルコペニア、廃用症候群、在宅ケア、在宅医療、訪問看護、在宅介護、在宅リハビリテーション、終末期、高齢者医療確保法、介護保険法、医療法

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 高齢者保健 p230-235

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 高齢者保健 p230-235 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第 3 編 保健と医療の動向 第 2 章 保健対策 2. 老人保健 p116-118
1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 16：地域医療：医療体制と医療計画

日時：6月11日（水） 2時限

担当者：亀井 美登里(社会医学)

内容：

医療の役割と医療体制について概要を理解している。

1. 地域の実情に応じた医療と医師の偏在（地域、診療科等）の現状の概要を説明できる。
2. 医療法が定める医療施設の種類と機能について説明できる。
3. 医療計画について概要を説明できる。
4. 地域医療提供体制に関する諸課題の相互関連性の概要を説明できる。
5. 医療提供体制と医師の働き方について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：A-7-1)、B-1-7)、B-1-8)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論 I -3-A～C、I -4-A～B、I -6-A～G

キーワード：

ユニット：

5 疾病 5 事業、5 疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患）、5 事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療）

★コアカリ：

地域医療、医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携）、地域医療構想、地域包括ケアシステム、保健・医療・福祉・介護の連携

国試出題基準：

地域医療、病院、診療所、地域医療支援病院、特定機能病院、臨床研究中核病院、療養病床、保険薬局、医療計画、医療圏、基準病床数、医療従事者、地域連携クリニカルパス、地域医療構想、地域包括ケアシステム、医療法、介護保険法

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 医療と社会 医療法と医療体制 p124-151

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 医療と社会 医療法と医療体制 p124-151（10 分）

復習：

2. 国民衛生の動向 第4編 医療提供体制と医療保険 第1章 医療提供体制 p183-226
1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。（20 分）

予防 17：社会保障制度と医療経済

日時：6 月 11 日（水） 3 時限

担当者：亀井 美登里(社会医学)

内容：

1. 生存権等の健康に関する基本的人権と社会保障（社会保険、社会福祉、公的扶助）の意義と概要を説明できる。
2. 我が国の医療保障制度の特徴について説明できる。
3. 国民皆保険としての医療保険、介護保険、年金保険を含む社会保険の仕組みと問題点を説明できる。
4. 医療保険のしくみ、種類と対象、その特徴について説明できる。
5. 医療費支払い制度について説明できる。
6. 公費医療の考え方、種類と対象について説明できる。
7. 国民医療費の現状、国民医療費の増加、減少する理由について説明できる。
8. 経済が医療に与える影響について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-8)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論 I -2-A～C、必修 2-A

キーワード：

ユニット：

現物給付、診療報酬制度、出来高払い、定額払い（包括払い）、高齢者医療

★コアカリ：

社会保障制度、国民皆保険、医療経済（国民医療費の収支と将来予測）、医療保険、公費医療、診療報酬制度

国試出題基準：

社会保障、公的扶助、社会保険、公衆衛生と医療、社会福祉、医療保険、公費医療、保険医、保健医療機関、国民医療費、医療費負担と給付

教科書：

公衆衛生がみえる 2024-2025 医療と社会 社会保障と医療経済 p152-171

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 医療と社会 社会保障と医療経済 p152-171 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第 4 編 医療提供体制と医療保険 第 2 章 医療保険制度 p227-241
1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 18：母子保健（1）

日時：6 月 13 日（金） 1 時限

担当者：高橋 美保子(社会医学)

内容：

母子保健政策の意義と概要を学ぶ。

1. 保健指標からみた母子保健の現状と課題について説明できる。
2. 我が国の少子化対策について説明できる。
3. 成育基本法、母子保健法等に基づく母子保健施策の意義と概要について説明できる。
4. 小児対象の医療費公費負担制度について説明できる。
5. 新生児マススクリーニング、乳幼児突然死症候群（SIDS）対策について説明できる。
6. 児童虐待の予防対策について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-6)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論 I -3-B、II -4-A～C

キーワード：

ユニット：

母子保健指標、少子化、乳幼児健康診査、低出生体重児の届出、自立支援医療（育成医療）、小児慢性特定疾病医療費助成制度、先天性代謝異常等検査、乳幼児突然死症候群（SIDS）対策

★コアカリ：

母子保健、成育基本法、母子保健法、母体保護法、児童福祉法、児童虐待防止法

国試出題基準：

健やか親子 21、次世代育成支援対策推進法、母子保健法、母子健康手帳、妊産婦健康診査、育児指導、養育医療、障害者総合支援法、自立支援医療、児童福祉法、児童虐待防止法

教科書：

- ◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 母子保健 p.200-209, p.216-229

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 母子保健 p.200-209, p.216-229 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第 3 編 保健と医療の動向 第 2 章 保健対策 1. 母子保健 p.107-116
1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 19：母子保健（2）、学校保健

日時：6 月 13 日（金） 2 時限

担当者：高橋 美保子(社会医学)

内容：

母子保健（2）

1. 母体保護施策について説明できる。
2. 女性労働者の母性保護規定について説明できる。
3. 環境因子と胎児障害およびその予防対策について説明できる。

学校保健

1. 学校保健の意義と概要を説明できる。

2. 学齢期の健康状況について説明できる。
3. 学校医の職務および学校保健関係職員の役割を説明できる。
4. 健康診断について説明できる。
5. 学校感染症を列挙し、学校感染症対策について説明できる。
6. 学校環境衛生の基準について説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-6)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論Ⅱ-4-A～B、Ⅱ-10-A～B

キーワード：

ユニット：

学校保健：学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、栄養教諭、就学時健康診断、定期健康診断、臨時健康診断、職員健康診断、健康相談、学校感染症（第一種、第二種、第三種）、出席停止基準、学校環境衛生、学校保健委員会、学校給食

★コアカリ：

母子保健、学校保健、学校保健安全法、学校医の役割、学校感染症

国試出題基準：

母子保健(2)：家族計画、母体保護法、人工妊娠中絶、不妊、産休制度、育児休業制度、環境因子、胎児障害

学校保健：学校保健安全法、学校医、養護教諭、児童の慢性疾患と保健管理、学校精神保健

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 母子保健 p.210-215、学校保健 p.340-349

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 母子保健 p.210-215、学校保健 p.340-349 (10 分)

復習：

2. 国民衛生の動向 第 3 編 保健と医療の動向 第 2 章 保健対策 1. 母子保健 p.110-116、第 10 編 学校保健 p.370-384

1 を読み、さらに 2 を読み、理解を深める。(20 分)

予防 20：プライマリ・ケア：在宅医療と地域包括ケア

日時：6 月 16 日（月） 5 時限

担当者：太田 秀樹(社会医学)

内容：

目標：在宅医療のあり方、今後の必要性和課題について学ぶ。

1. 地域における在宅医療の体制を説明できる。
2. かかりつけ医の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。
3. 在宅医療における多職種連携の重要性、チーム医療の重要性を説明できる。
4. 在宅における人生の終末期の医療、看取りのあり方と課題を概説できる。
5. 日常生活動作＜ADL＞に応じた介護と環境整備の要点を説明できる。
6. 地域包括ケアシステムの概念を説明できる。
7. 地域における保健・医療・福祉・介護の連携の必要性を説明できる。

コア・カリキュラム平成 28 年度改訂版：B-1-6)、B-1-7)、B-1-8)、F-2-15)

医師国家試験出題基準平成 30 年版：医学総論Ⅰ-2-A～B、Ⅰ-3-A～C、Ⅰ-4-A～B、Ⅱ-6-A～G、必修 2-A～C

キーワード：

ユニット：

★コアカリ：

プライマリ・ケア、在宅医療、終末期、緩和ケア、多職種連携、日常生活動作＜ADL＞、地域包括ケアシステム、介護保険制度、障害者総合支援法、医療保健福祉制度、介護の定義

教科書：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 高齢者保健 p230-253

予習：

1. 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 高齢者保健 p230-253

復習：

2. 国民衛生の動向 第4編 医療提供体制と医療保険 p183-202、第5編 介護保険 p242-256、
1を読み、さらに2を読み、理解を深める。(20分)

予防21：障害者福祉政策とその現実、ならびに福祉と医療の関連、障害者支援

日時：6月17日（火） 4時限

担当者：丸木 憲雄(社会福祉法人育心会)

内容：

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）等の障害者福祉の概要を理解する。

1. 障害者福祉政策とその現実、ならびに福祉と医療の関連
 1. 障害者について説明できる。
 2. 障害者福祉制度の必要性について自分の考えを説明できる。
 3. 障害者福祉法体系の問題点について自分の考えを説明できる。
 4. 障害者の人生における医療と福祉の関連について自分の考えを説明できる。
2. 障害者支援
 1. 障害者支援の目的について自分の考えを説明できる。
 2. 障害者の自立について自分の考えを説明できる。
 3. 個別支援について自分の考えを説明できる。
 4. ノーマリゼーションについて説明できる。
 5. バリアフリーについて自分の考えを説明できる。
 6. 医療の問題点について自分の考えを説明できる。

コア・カリキュラム平成28年度改訂版：B-1-8)

医師国家試験出題基準平成30年版：医学総論 I -5-N

キーワード：

ユニット：

福祉、医療、障害者、障害者福祉、高齢者と障害者、バリアフリー、人生、個別、ノーマリゼーション

★コアカリ：

障害者総合支援法

教科書：



2. 国民衛生の動向 第3編 保健と医療の動向 第2章 保健対策 3. 障害児・者施策 p118-123

復習：

講義内容を確認する。(20分)